



ロリポップつうしん

～布おもちゃの貸し出しをしているボランティアグループです～

NO. 11

H.31(2019年)2月発行
おもちゃひろばロリポップ



ロリポップ展示会 (2018年7月開催)



藤沢市立白浜養護学校では、おもちゃひろばロリポップの布おもちゃを毎年お借りして、日々の個別の課題学習やクラスでの生活の学習、昼休みなど遊びの時間、保健指導等様々な場面で活用させていただいています。年に一度、学校の会議室を展示室にして「**ロリポップ展示会**」を行い、お借りしている80点余りの布おもちゃを展示しています。

昨年は7月1日に行われ、白浜の子ども達・教員が授業や休み時間を利用して大勢参加しました。子ども達は、展示室に足を踏み入れると目を輝かせていました。興味深そうに見てまわる子、大好きな布絵本を見つけてあおむしを

穴から何度も出し入れして遊んでいる子、友達や教員と楽しそうに的あてに興じる子、ロリポップさんに使い方を教わっている子、それぞれに楽しい時間を過ごしていました。教員からは、「**一度にたくさん見ることができて良かった**」「**子どもの実態に合わせて安全に使えるように作ってもらってありがたい**」「**ボタンかけなど手先を使った課題に取り組んでいるので、このおもちゃを使ってみたい**」などの感想が聞かれました。今回は、自立を助けるおもちゃ(スケジュール・食育)、力の入れ具合を学ぶおもちゃ(指先を使う・体を使う)など、使用のねらいに沿って分類されており、今後の学習活動を考える上で参考になりました。

また、保護者の方やロリポップ会員の事業所スタッフの方々も展示会に参加され、子ども達の様子や布おもちゃの使い方などのお話がはずんでおり、終始和やかな雰囲気でした。

これらの布おもちゃの中には、白浜の子ども達の学習を考えていく上で「**こんな教材があったら使ってみたい**」と提案して作っていただいたものがいくつかあります。昨年度は養護教諭から、「**子どもたちが視力検査とはどんなことをするかを理解する手助けになるように、ランドルト環(切れ目のある輪)を試作してもらえないか**」との提案がありました。ロリポップ定例会でお伝えしたところ、「**是非作りましょう**」と、早速取り組んでくださいました。



月に一度行われている定例会では、ロリポップのメンバーさんと会員が集まり、新しい布おもちゃの作製について話し合ったり、他の団体での使い方についての情報交換をしたりと活発に話し合いが行われています。このランドルト環の作製にあたって、子ども達が使いやすいように形状、大きさや切れ目の工夫についてアイデアを出し合いました。そして、デザイナーさんがデザインを試行錯誤してくださり、どんぐり工房さんに丁寧に縫製していただき、試作品の完成に至りました。

保健室では、子どもに合わせた色々な方法を試しているところです。「**ハンドル**」と称したランドルト環を手に持って見本と同じ向きにする練習をしたところ、温かみのあるフェルトの手触りを楽しみながら、子ども達が視力検査に親しんでいる様子がありました。

これからもロリポップさんと様々な連携し、布おもちゃを通して子ども達の笑顔を育んでいければと思います。

藤沢市立白浜養護学校 地域支援



ロリポップより

今年度も例年通り白浜でのロリポップ展示会を開催させて頂きました。先生方や事業所の職員さん、生徒の皆さんと大勢の方々が見学にいらして、貴重なご意見・アイデアを聞く良い機会となりました。私達ロリポップスタッフにとっても子ども達が実際おもちゃを手にとって思いがけない(?)遊び方をするのを見るのが毎年の楽しみでもあります。保護者の方々にも足を運んで頂いて、学齢期のお父さん・お母さん目線の新鮮な意見も おもちゃに反映できるように なったら嬉しいです。

(西 村)



放課後等デイサービスこあらでは、開所当初からロリポップさんのおもちゃを使わせていただいています。おもちゃの材質や形状など、細かいところまで配慮されていて、とても安心して子どもたちに提供できます。そのため子どもたちも、遊ぶことの楽しさを十分に味わうことができます。また、集団で行うプログラム活動の中でおもちゃを使わせていただくことも多いです。

先日は、魚釣りゲームを行いました。こあら海岸に隠れた6匹の魚を探し出して釣るというルール設定で、とても盛り上がり楽しく活動することができました。土管の中に隠れた魚や、シロクマが抱えている魚、ワカメの下に潜っている魚など、様々な場所に隠れている魚を見つけると「いたー！」と勢いよく竿を振り下ろして釣っていました。中には「泳いで探しに行ってくる。」と泳ぐまねで海に入っていき魚を発見した子もいました。



放課後等デイサービスこあら 和田

次世代へつなぐ

障がいを持つ子ども達への布おもちゃの企画デザインを始めて15年。

本当は何が必要なのか？笑顔で遊べるおもちゃは？先生方やお母さんの声が知りたくて【おもちゃひろばロリポップ】を立ち上げました。今では現場の声が多く企画を生みだし【TOY工房どんぐり】で制作されたおもちゃは、子ども達の伸びる力を引き出し、日常生活に必要な事が身につく一助になっています。



【どんぐり】のおもちゃに関心を持たれた上田女子短期大学幼児教育科の教授より、学生に講義【図画工作演習・トレーニングトイ】依頼があり、おもちゃにこめた私の想い『子どもの未来と自立を支えたい』を学生に伝えてきました。授業では、パワーポイントでの解説と実際の活用法を紹介。

お話【大きなかぶ】のゲーム版では登場人物になり、一緒にかけ声を掛け合いコミュニケーション力と一体感を体験し、

葉(ひも)は長短がつけてあるので互いにぶつかりにくく、かぶを土(袋)からチカラいっぱい引き抜いても壊れない安定性を実感し楽しみました。



【的あておにちゃん】では、ボールの形が大・中・小・俵で、体や手の不具合に合わせて使い分けられ、だれでもが一緒に出来る事の喜びを体感してもらいました。

教室に展示したおもちゃトレーニングトイの数々に、学生達は心弾ませ、見て、触れて、笑顔に！



後日の学生アンケートでは、うれしい言葉をたくさんいただいたので一部紹介します。

おもちゃを通して子どものできる事が少しずつ増えることが凄イと思いました。障がい児と関わる仕事についたら、このトレーニングトイで子供と遊びたい。保育者になっても、使えそうなものが多いので真似して使ってきたい。

2018年6月 企画・デザイン担当 穂刈 弓

Information

- 2019年のロリポップ展示会は、白浜養護学校にて新学期に開催予定です。皆様のご来場を楽しみにしています。

編集後記

初めてロリポップのおもちゃを見たとき、なんて素敵！可愛い！そして温かい！そして、今。子供たちのための素敵なおもちゃが、会員さんやスタッフのアイデア、活発な意見の交換から生まれ、デザイン・制作される現場にいることが幸せです。（木内）